

生活科学学習指導案

廿日市市立吉和小学校
指導者 湯原 玲子

1. 学 年 第1学年 2名 第2学年 6名 計8名

2. 単元名 「秋とあそぼう」

3. 単元について

○児童観

児童は大変明るく好奇心旺盛である。外に出て活動したり物を作ったりするのが大好きで、いつも活発に活動している。1学期には学校の周りや近くの公園、川に出かけ、遊びを通して自然と親しんできた。子どもたちは、「初めて行った」「こんな楽しいところがあったんだね」と興味をもち、学校から帰った後にも家の人とまた遊びに行っている様子だった。少しずつ、知らなかった地域のよさを見つけることの楽しさを味わってきているようだ。

2学期になり、校庭や公園でいろんな虫が鳴き、秋らしい草花も見られるようになってくると、児童は家の近くになっていたアケビやクルミを持ってきたり、カマキリのたまごを見つけたり、自主学習で見つけた秋をカードに書いてきたりして、紹介してくれるようになった。しかし、たくさんの恵まれた環境に囲まれながらも子どもたちの遊びは室内が多く、自然物を使って遊んだり、自然物を利用して遊び道具や生活を楽しむものを作ったりした体験はあまりないのが現状である。

○単元観

本単元は、学習指導要領の内容(3)(5)を受けて設定した。季節の移り変わりを体感できる場所に継続的に出かけて遊んだり、自然や町の様子の変化を探したりする活動を通して、自分たちの身の回りの季節の変化に気付き、これからの季節の変化に関心や期待をもつことができることをねらいとしている。秋の自然物や探検に行った場所の環境を活用して遊ぶ中で、友達と協力しあってよりよいかかわりがもてるであろう。さらに、自然にかかわる活動を繰り返すことは、問題意識をもって自然を観察するといった積極的なかわり方が期待でき、地域の自然にいっそう親しみをもつことができる。

○指導観

学習を進めるに当たってはまず、自然に囲まれた豊かな環境を生かし、学校の周りや身近な公園へ出かけ、自然の中で遊びながら季節の変化を感じ取らせたい。特に秋の自然体験を大切にするために、体全体を生かした諸感覚によるビンゴゲームを活動に取り入れる。児童は自然と直接かかわる体験の中で、何がどう変わっていくのかを目で見たり触ったりして、新しい発見をしていくと考えられる。その中で、繰り返し観察して考えを深めたり、疑問をもって調べようとしたりし、活動を広げていこう。疑問に思ったことを調べることができるよう、図書を配置するなど、教室環境も整備しておく。

次に、二回目の探検時には自分なりのこだわりをもって活動ができるように、目的意識をもって探検に臨ませる。そのためには、探検の後の相互評価や振り返りの時間を大切にしていこう。発見したことを共有する時間をもち、考えを交流することによって、自分では気付かなかったことに気付かされたり、友達の発見に対して「なぜ」と考えをつなげたりすることも考えられる。

さらに、子どもたちが探検の中から考えたことを再構築し、表現する場を大切に扱っていききたい。これまでの秋見つけ探検の中での児童の思いやこだわりを大切にしながら、探検の振り返りを通して気付いたこと、考えたことなどを友だちに自分の選んだ表現方法で伝え合う活動を行う。児童が多様な表現方法を自分で選択できるように、これまでに他教科で制作した作品を掲示しておく。児童は他教科で培った知識や技能を生活科の表現活動に関連させ生かすことができるであろう。本時の発表会による交流場面では、発表を聞くだけでなく「付け加えたいこと」「聞きたいこと」「よく分かったこと」と焦点を絞った話し合いを仕組み、秋の事象についての気付きを深めたり互いのよさに気付かせたりしていく。

4. 単元目標

- 季節の移り変わりを体感することができる場所に継続的に出かけて遊んだり，観察したりする活動を通して，季節の変化に気付き，地域の自然と親しむことができるようにする。
- 問いかけをもって自然にかかわり，秋の事象について分かったことを工夫して発表することができる。

5. 単元の評価規準

【 学習指導要領の内容 (3) 地域と生活 (5) 季節の変化と生活 】

	ア 生活への関心・意欲・態度	イ 活動や体験についての思考・表現	ウ 身近な環境や自分についての気付き
内容のまとまりの規準	地域の人々や様々な場所に親しみをもってかかわり，自分の生活を広げようとしている。〔内容(3)〕 身近な自然を観察したり季節や地域の行事にかかわる活動をしたりしようとしている。〔内容(5)〕	地域の人々や様々な場所と適切にかかわることや，安全に生活することについて考え，それを表現することができる。〔内容(3)〕 四季の変化や季節に応じて，自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできる。〔内容(5)〕	自分たちの生活は，地域の人々や様々な場所とかがわっている。〔内容(3)〕 四季の変化や季節によって生活の様子が変わることについて気付いている。〔内容(5)〕
単元の規準	身の回りの自然，町の様子に関心をもつとろうとする。	自分たちで発見した町の秋の様子を表現することができる。	自分の町の様子が季節によって変化していることに気付いたり，気に入った場所で観察したり遊んだりすることが楽しいことに気付く。
学習活動の規準	身近な自然を観察したり生活の様子を振り返ったりしながら，秋への変化を探そうとしている。また，新たな探検をしようとしている。 自分や友達の見つけた秋の様子に関心をもち，地域の自然にこれかろうとしている。	校庭や学校のまわりの秋を探したり，見つけた秋を絵や文に表したりする。また，公園や自然物など，自然の環境や季節にかかわることを工夫することや，観察したことや調べたことなど，自分の選んだ方法で表現することができる。	自然での遊びや観察を通して，季節が秋に変化していることに気付いている。また，季節によって遊びや生活の様子が変わることや，公園での遊びの楽しさに気付いている。 秋の自然の不思議さや面白さに気付いたり，自分や友達の表現のよさに気付いている。

6. 指導と評価の計画 (全 16 時間)

第 1 次 秋みいつけた！ (4 時間)

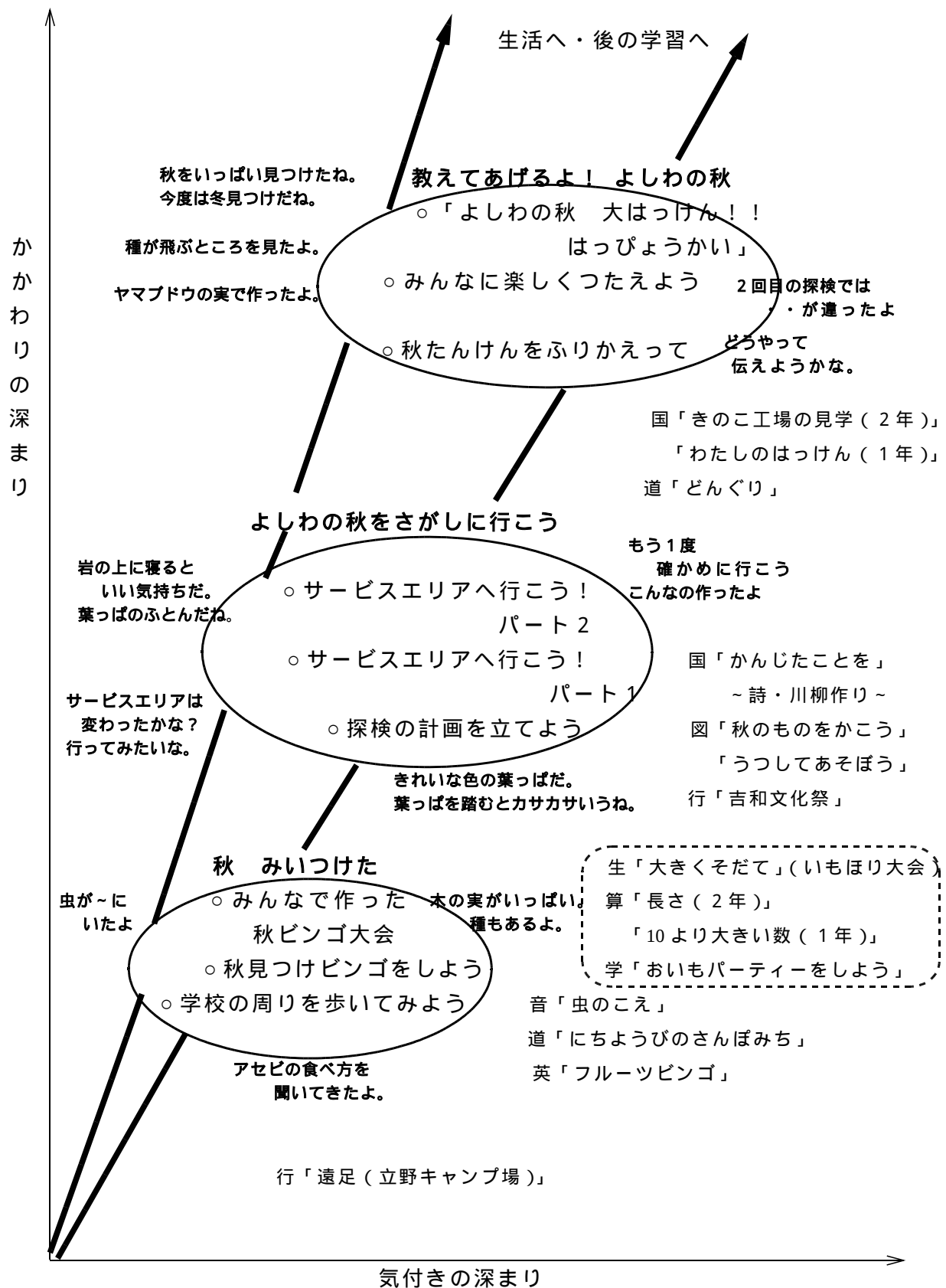
第 2 次 よしわの秋をさがしにいこう！ (8 時間)

第 3 次 教えてあげるよ！よしわの秋 (4 時間)

小単元	小単元の目標と主な学習活動	小単元における具体的な評価規準との関係	評価 ・ 評価の視点 () 評価方法
1 秋みいつけた	学校や身のまわりの秋に関心をもち，秋を探し楽しむことができる。 ○ 秋の自然や暮らしなどの様子を見つけて発表する。 ○ 初夏の散歩を思い出し，秋の散歩の計画を立てる。 ○ 五感を使って校庭や学校の周りで秋探しをする。	ア イ	・ 校庭や学校の周りの自然に目を向けて季節の変化を見つけようとしている。(行動・対話) ・ 食べ物・衣服など生活の中での季節の変化を探そうとしている。(対話・カード) ・ 夏との違いという視点をもって秋の事象を探そうとしている。(行動・カード) ・ 自分の見つけた秋の様子を話したり，カードに書いたりしている。(対話・行動・カード) ・ みつけた物を利用して作ったり遊んだりしている。

	○ 見つけた秋を絵や文でカードに書き紹介する。 ○ 自分たちでビンゴを作り、秋見つけビンゴをする。 ○ もっと違う秋の様子を見つけて、友だちに紹介する。	ウ	・ みる。（行動・作品） ・ 秋の自然を利用した活動や遊びを友達と楽しんでいる。（行動・会話） ・ 生き物や草木に関心をもち、秋の自然の様子に気付いている。（カード） ・ 新しく見つけたこと、気付いたこと、工夫したことを発表している。（発表） ・ 自然や生活の様子が変わったことに気付いている。（カード・会話）
2 よしわの秋をさがしにいく	町の秋の事象に関心をもち調べたり遊んだりすることができる。 ○ 季節の変化を予想し、秋を探す計画を立てる。 ○ サービスエリアに行き、体全体で秋の自然を楽しみながら遊ぶ。 ○ 遊んで楽しかったこと、発見したこと、気付いたこと、調べたことなどを絵や文に書く。 ○ 1回目の探検を振り返り、探検の目的をはっきりさせ、2回目の探検を計画し実施する。	ア イ ウ	・ 春や夏の探検時にはなかったものを予想し、見てこうとしている。（カード・会話） ・ 自分なりのこだわりをもって、自然にかかわり、秋見つけ探検を楽しんでいる。（行動・会話） ・ 次の探検でしたいこと、見つけたいことなどがある。（カード・会話） ・ 自分が関心をもった場所や動植物についてもっと詳しく調べようとしている。（行動・対話） ・ 見つけたいものや見つけることができそうなものを考えて準備している。（行動・会話） ・ 諸感覚を使って秋探しをしたり、楽しく遊んだりしている。（行動・カード） ・ 秋の自然物や公園の環境を生かしてどんな遊びができるか考えたり試したりしている。（行動） ・ 自分が考えた遊びや見つけたものを友達に話している。（会話） ・ 見つけた自然物を遊びに使ったり、作ったりして遊んでいる。（行動・作品） ・ 木の実や落ち葉があること、それらを観察し新たな発見をしたり遊びに使ったりすると楽しいことに気付いている。（行動・対話・作品） ・ 春や夏の頃と公園の様子や自然が違うことが分かっている。（会話・カード） ・ この時期ならではの遊びの楽しさや発見できるものに気付いている。（行動・対話・カード）
3 教えてあげるよ！ よしわの秋	探検で発見した秋の自然の様子や調べて分かったことを紹介する。 ○ 秋の自然の様子を紹介する会を計画する。 ○ 自分の選んだ表現方法で発表する準備をする。 ○ 探検で発見して自分がこだわって調べてきたことについて、分かったことや楽しかったことを発表する。 ・・・本時	ア イ ウ	・ 見つけた秋の様子を自分なりの方法で表現しようとしている。（行動・作品） ・ 友達の発表したことに関心をもち実物を見て確かめている。（行動・つづき・発表） ・ 分かったことや思ったことを自分の選んだ方法でまとめている。（発表・作品） ・ 地域の季節の様子を振り返りながら、自分の思いや考えを表現している。（発表・作品） ・ 自分の気付きと比べながら友達の発表を聞き、付け加えや分かったことを話している。（発表） ・ 秋の動植物の特徴を知り、不思議さや面白さに気付いている。（カード・発表） ・ 自分や友達の発表の工夫や発見のよさに気付いている。（カード・発表） ・ 町には様々な自然があることや探検した場所がもっと好きになったことに気付いている。（カード・会話）

7. 単元構想図（全16時間）



行：学校行事

英：英語活動

8. 本時の展開

(1) 本時の目標

自分のこだわって調べた吉和の秋の自然について紹介し合い，秋の自然の特徴，自分や友達のよさに気付くことができる。

(2) 準備物

(児童) 発表に必要なもの

(指導者) 今までの探検の写真 歌詞カード オルガン 振り返りカード

(3) 学習の展開

学習活動と主な発問	指導上の留意事項 「努力を要する」状況と判断した児童への手だて	評価規準 ＜評価方法＞
1. 「はっばのおへや」の歌を歌う。 2. 探検振り返りクイズをする。 ・何をしている写真でしょう。 3. 本時のめあてをつかむ。	これまでの探検の楽しかった様子を想起させる。 クイズで導入し，興味をもって活動に入れるようにする。	
よしわの秋 大はっけん！！ はっぴょう会をしよう		
4. みんなに伝えたい発見を，自分なりの表現方法で発表する。 ・発見したこと ・遊びながら気付いたこと ・調べて分かったこと 5. 本時の振り返りを振り返りカードに書く。 6. 次へのめあてをもつ。	友達の発表を聞きながら，自分と同じところや，違うところがあると思ったら進んで発言するように促す。 互いの気付きを関連させることができるよう，話し合いの焦点を絞る。 友達の発表したことを確かめることができるよう，実物に触れさせる。 気付きや表現を肯定的に評価する。 発表者に問いかけながら，自分のしたことや気付きを引き出す。 自分の発見について 友だちの発見について 自分ができるようになったことについて書かせる。 友達の発表から何が分かったか，自分のがんばったことなどを対話により振り返らせる。 これからも，吉和の自然の様子を発見していこうと促す。	・自分の見つけた秋の動植物の特徴や楽しかったことなどを伝えることができる。 イ ＜作品＞ ＜発表の様子＞ ＜振り返りカード＞ ・自分や友達の発表や活動のよさ，秋の自然の事物の特徴に気付いている。 ウ ＜発言＞ ＜振り返りカード＞